

皆さんからの情報を募集しています。
地区内行事、ボランティア活動など何でもOK!
企画調整課 ☎82-5728 までご連絡ください。

第13回
7人制男女混合ソフト
バレーボール大会
3/2

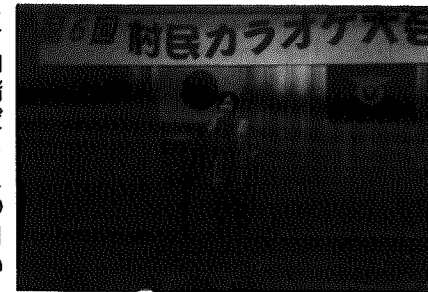
- 【大会結果】
- 優勝：ファイト一発
 - 準優勝：三田'ず
 - 3位：だいろ
- ：JVファミリー



▲レシーブなんておてのもの!

★第6回★
村民カラオケ大会開催!!

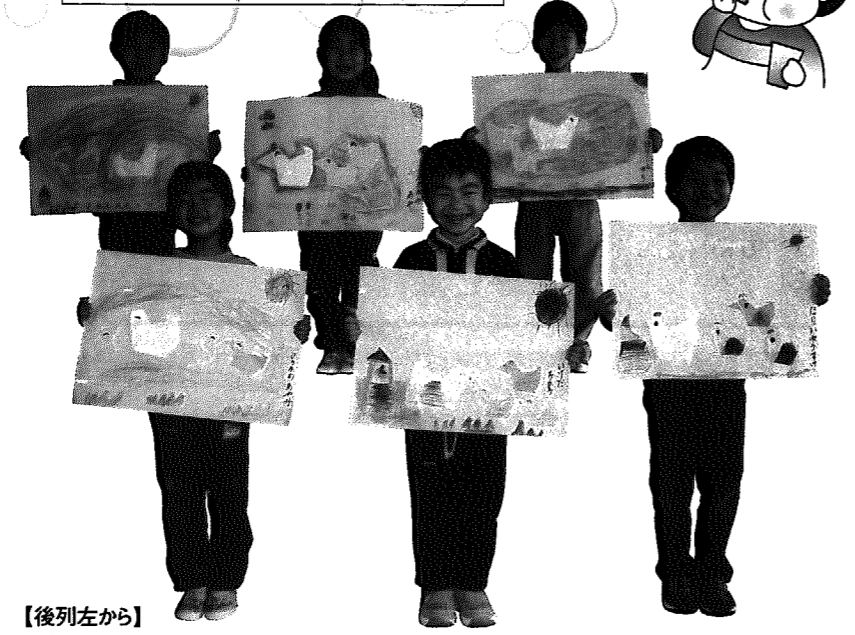
上着を一枚脱ぎたくなるようなぽかぽか陽気となった先月2日、公民館で第6回村民カラオケ大会が開かれました。今回出場したのは総勢42名のカラオケ愛好家の皆さん。出番前はとても緊張していた様子でしたが、曲が流れ出すとそれぞれの思いを込め、堂々とステージの上で熱唱していました。会場に訪れた200名を超える観客は、次から次へと披露される懐かしい曲や、最近の少しテンポのよい曲などを、一緒に口ずさんだり拍手を送ったりしながら、時間が経つのも忘れ、1日を満喫していたようです。



▲ステキな歌声を披露する参加者

ぼく★わたしの
自信作

●中央保育園 五歳児
〈作品名〉“春です おさんぼ”



【後列左から】
あべまさきくん、やまかみあやちゃん、ほりこしゆうくん

【前列左から】
ひろかわあやみちゃん、いけだちひろくん、ほりいゆうすけくん



5台を新たに配備!!

消防団に小型ポンプ積載車

先月2日、岩室村消防団に5台の小型ポンプ積載車が新たに配備され、役場駐車場において引き渡し式が行われました。これにより、消防団の全分団に合計16台の積載車が配備され、初期消火体制の充実や延焼防止、また応援出動の範囲拡大と機動力を確立し、火災等の各種災害に対応できるようになったもので、今後ますますその活躍が期待されます。

▲引き渡しを受けた小型ポンプ積載車5台

生命財産を守るための機動力に期待

広報いわむろにあなたが写っていましたら、
企画調整課へご連絡をください!写真を差しあげます!!



▶修了者の皆さん



▶篠笛を吹く長尾学長さん

伝統芸能を伝え育もう
～和納十五夜まつり・篠笛教室修了式～

うらかな陽気が春の足音を感じさせた先月16日、公民館で篠笛教室の修了式が行われ、受講者18人が参加しました。村の貴重な伝統芸能を明日につなげようと、昨年10月から週1回で行われてきたこの教室も、計14回を数え、生徒さんの腕も上達したようです。当日は、武蔵野美術大学の長尾学長さんも参加。「高齢者の竹内さんがこうやって守ってきたものを伝承していくことは素晴らしいこと。アートサイト岩室温泉2003の縁で、こういう笛に出会うことができ良かった」と、実際に笛を吹いたりしながら、岩室の伝統芸能に触れていました。今年度も4月から開かれるこの教室。笛のテクニックと伝える心が受け継がれ、これからも和納の文化が伝承されていきます。



モンゴル演奏グループ「エルデニスウ」岩室滞在記
～岩室の空に響いた大草原の調べ～

2月24日から3月21日までの26日間にかけて、モンゴル民謡や芸術を通して、この国の素晴らしい人柄と音楽を多くの人たちに感じてもらうと、「モンゴル・岩室友好の会」の招きで来日した演奏グループ「エルデニスウ」の皆さん。2月27日、ホテル大橋で開かれた歓迎会では、モンゴル民謡の歌にあわせて馬頭琴などの演奏を披露し、約100名の参加者は独特の哀愁に満ちた音色に酔いしれました。中でも、同時に低い声と高い声を響かせる伝統的な発声法「ホーミー」は、聞く人みんながその不思議さに驚いていたようです。また、岩室温泉からも芸妓さんの踊りが披露されたり、演奏グループが日本の三味線を弾いたり、日本とモンゴルの伝統文化交流が行われました。

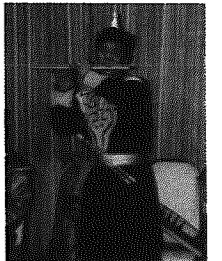
その後、演奏グループは岩室村に滞在しながら、村内の色々な催しに参加。また、近隣町村をはじめ、新潟市や十日町市、さらには県外などにも出向き、演奏会や学校での交流を通してモンゴルの素晴らしさを広めました。帰国を翌日に控えた先月20日、「日本に来ていろんな食べ物を食べましたが、お米がとてもおいしかったです。街で人と会うとみんなが挨拶してくれ、親切にしてくれたことにとっても感動しました。日本に受け入れてくれた4人に対してとても感謝しています」と日本での生活について、話してくれた演奏グループの皆さん。岩室温泉に入



▲歓迎会で演奏する演奏グループ「エルデニスウ」



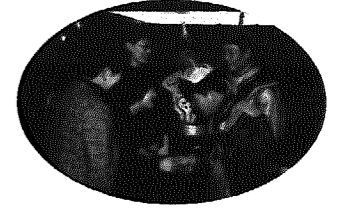
▲「ホーミー」を歌うエルカさん。一体どうやって2種類の音を出すのか。



▲2分間息継ぎなしで横笛を吹き続けた。



▲馬の頭の格好をした弦楽器・馬頭琴を弾く



▲演奏後、観客と国際交流。

って初めての感想を聞くと、「モンゴルにも温泉はありますが、医療用なので通常は入りません。日本のように他人と入る習慣もなかったの、最初は驚きでしたが、一回入ったら気持ちよくてやみつきになりました。お風呂の中は声がよく響くので、ホーミーの歌声も格別でしたよ」とのこと。モンゴル・岩室友好の会の皆さんも「紅糸曲折を乗り越えて実現した今回の来日。来てからもまた色々大変だと思っていたのですが、あっという間の26日間でした。本当に多くの皆さんからご支援、ご協力いただき、実のある国際交流ができたと思います。ありがとうございました」と話してくれました。この約1か月間の交流の中で、多くの皆さんがモンゴルの魅力に触れ、素晴らしさを感じられたことで、同じアジアの国でありながら遠かったモンゴルが、より近い国になったようです。